

中学生による介護のお仕事体験

8月21日、富山市内の中学生10名が介護のお仕事を体験するために、私たちの施設・事業所に来てくれました。皆さん、最初は緊張した様子でしたが、車椅子体験や作業のお手伝いに熱心に取り組みました。最後はゲームレクリエーションを行い、大いに盛り上がりました。

(注)介護労働安定センター富山支部が富山市から受託した「介護の魅力PR事業」として実施している「中学生による介護のお仕事体験」を高志ワークホーム、高志ワークセンター、高志生活訓練センターで受け入れたものです。



車椅子体験

高志ワークホームで初めての車椅子体験。触るのも初めてでした。実際に乗ったり押したりして、狭い場所への移動が難しいことや、利用者の方がどのように生活しているのかを学んでもらいました。



施設に設置してある自動販売機は、車椅子の方でも操作しやすいようにボタンが低い位置にも設置してあることを (ユニバーサルデザイン) 職員が説明しました。



作業体験

高志ワークセンターでは、利用者の方が行っている作業を実際に体験してもらいました。利用者の方から作業工程を教わり、緊張しながら中学生の皆さんは作業に取り組みました。



高志生活訓練センターでは、訓練の一環として行っているゲームレクリエーションに参加し、中学生の皆さんのチームと利用者の方のチームで2種類の試合をしました。

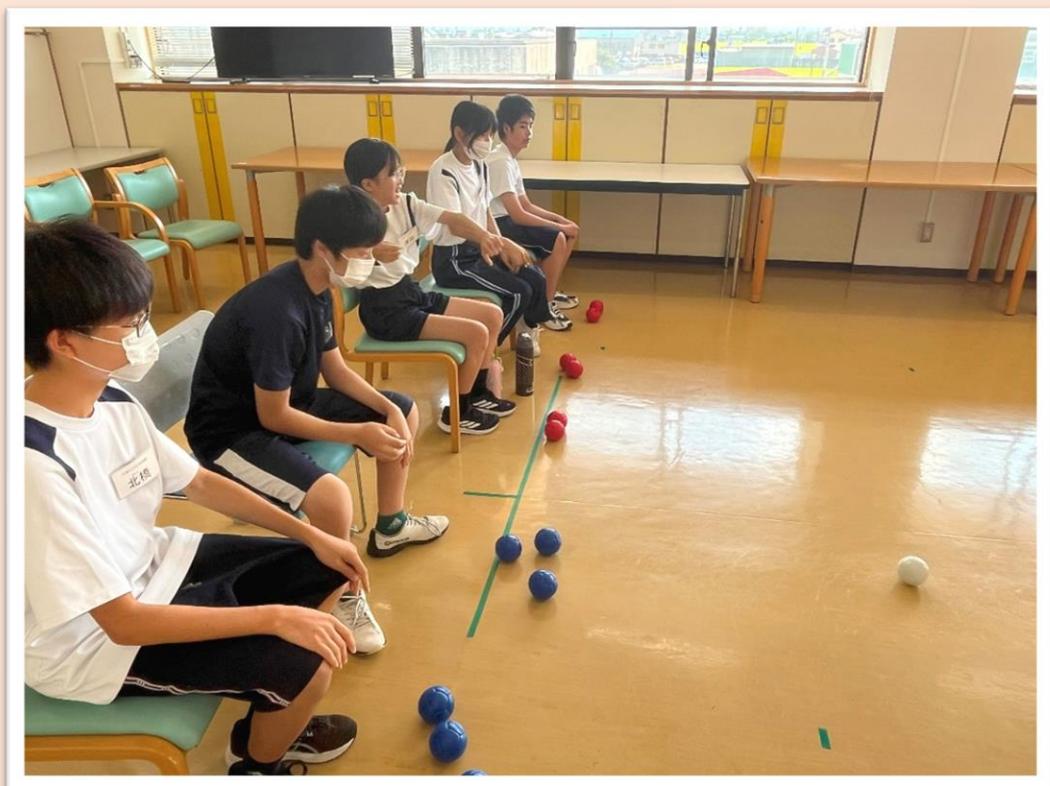
卓球バレー体験

皆さん初めての卓球バレー。利用者の方の素早いボールにも上手く反応し、ボールを返していました。障害がある方とも一緒に楽しめるスポーツを体験し、笑顔あふれる時間となりました。



ボッチャ体験

パラリンピックでも採用されている競技とあって、皆さん興味深々。初めての方も居て、ボールの扱いに戸惑いながらもどうやったら勝利できるか作戦を話し合うようになり、白熱した試合展開となりました。最後は経験豊富な利用者を相手に、中学生チームが見事勝利を収めました。



自立訓練体験

高志生活訓練センターで、利用者の方と一緒に体操をしました。体操を行うことも大切なリハビリです。



この体験を通じ、障害福祉という仕事にもっと興味を持ってくれたら嬉しく思います。次回も機会がありましたら是非お待ちしております。